

(令和7年9月17日(水) 公開講座「SOGIの多様性について」)

9月17日(水)に高知大学にて、公開講座「SOGIの多様性について」を開催しました。高知大学では令和4年1月にSOGIの基本方針を定めており、今年は2度目となるSOGIの公開講座となりました。

まずは、SOGIという言葉を聞いたことがありますか？という質問から始まりました。これは、一人ひとりの性のあり方を示す言葉で、Sexual Orientation(性的指向)、Gender Identity(性自認)の頭文字をとっている言葉でソジ(あるいはソギ)と読みます。もしかしたら、LGBTという言葉については聞いたことがある、という方が多いかもしれません。LGBTは、レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーという言葉の頭文字です。SOGIの方は人の属性を示し、異性愛の人も示すなどすべての人が持っている属性なので、より広範囲な意味合いで使われます。

今回の授業では、最近よく聞くようになったSOGIという言葉について、そして講師の宮田さんが活動されているNPOレインボー高知についての活動をお話し頂きました。

法的には、このSOGI(性的指向や性自認)についても、パワハラ防止法施行によって、対応が義務付けられるようになりました。具体的には、同性愛や性的指向に関する偏見や差別などを無くす、身体の性と心の性が一致していない人が、職場などで不適切な扱いを受けないための人権的な取組が必要となっています。宮田さんは上記の医学部附属病院での研修でも講師として活躍されており、国立大学では初となるSOGI支援にも積極的協力して頂いています(医学部附属病院のSOGI支援チームの活動については[ウェブ](#)をご参照ください。)。

また高知におけるSOGIの理解をもっと広めようと、2024年度から高知初となるレインボーパレードを実施されたりと、啓蒙活動も活発に行われています。

この講義の中では、特に大学生に知ってほしいこととして、性的少数者の方々の持つ息苦しさがあり、周りの理解がないと生活をしていくことが大変だということです。「カミングアウト」や「アウティング」などの言葉も学び、そのような状況になったときにどう対応するのかなども考える機会となりました。

調査によりますが、性的少数者は11~13人に1人程度いるとされています。そのような性の多様性がある状況を踏まえたうえで、個々のSOGIを理解しあうことで、安全で安心に過ごしやすい大学生活ができるることは重要だと考えます。

(大学でもSOGIに関する窓口を設けていますが、こうち男女共同参画センター「ソーレ」にも「にじいろコール」というLGBTに関する電話相談窓口もあります。詳細は[「レインボー高知」](#)のサイトをご覧ください。)

